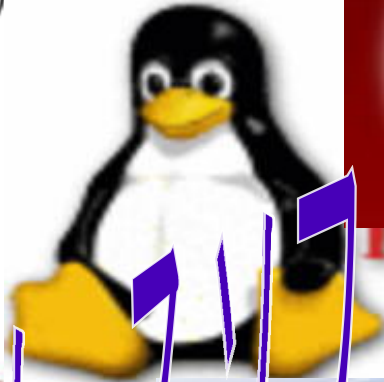


東北学院大学教養学部情報科学科 第3回シンポジウム



オープンソースの世界

日常生活を行ううえでコンピュータはいまや不可欠のものとなってきています。コンピュータを動かすためにはプログラム(ソフトウェア)が必要です。今までは、ソフトウェアはコンピュータ会社から購入するものと決まっていた。インターネットの普及に伴い、ほしいソフトウェアを自分たちで作り、みんなで利用できるようにして公開するオープンソースソフトウェア(OSS, FOSS)が出てきました。OSSは電化製品などに既に組み込まれるなど、目にふれないところで利用されるようになってきました。

今回のシンポジウムでは、講師として三浦広志氏(IPA: 情報処理推進機構研究員)、まつもとゆきひろ氏(NaCl, 楽天フェロー)のお二人をお招きすることになりました。三浦広志氏にはOSSの現状を報告して頂きます。世界的に利用されるようになってきているコンピュータ言語Rubyの開発者として知られるまつもとゆきひろ氏からは、具体的なOSSの開発にまつわる話題をお話していただきます。

コンピュータやインターネット、特にソフトウェアに興味をお持ちの、学生、社



ITインフラを支えるオープンソースソフトウェアが果たす未来への期待

三浦 広志
(株)NTTデータ

情報処理推進機構 研究員

オープンソース活用術 - Rubyを題材に

まつもとゆきひろ
(株)ネットワーク応用通信研究所

楽天技術研究所

Rubyアソシエーション

会場:

せんだいメディアテーク(7F)
スタジオシアター

日時:

2009年1月27日(火)

17:00から21:00

(入場無料)

主催: 東北学院大学教養学部情報科学科
お問合せ: 東北学院大学 情報科学準備室

Tel/Fax: 022-773-3315

後援: 仙台市教育委員会
河北新報社